

選挙についてわけもんとして考えたこと

西諸県支会代表 糀谷 葉和

私は政治・経済に興味を持っておらず18歳になるまでは選挙に行くことすら考えていませんでした。選挙権が18歳になるかもしれないと聞いた時には、正直自分には関係ない、おそらく行かないだろうと考えていました。その後、選挙権が18歳になり、学校の授業でも選挙について考える時間が設けられました。そして、去年18歳の誕生日を迎えた頃、ちょうど宮崎県知事選挙がありました。学校でも選挙の話題が少しずつ増えていきました。その時に、初めて選挙に行ってみたいと感じるようになっていきました。自分で候補者の政策を見てみたり将来のことを考えてみたりなどすることが増えました。私のクラスでは話題になりましたが、ほかのクラスではあまり話題にならなかったようでした。私自身もクラスで選挙の話題になっていなければ、選挙自体に興味を持てなかったのではないかと思います。あの雰囲気があったからこそ、できたことだと思います。

また最近、私自身テレビを見るという機会が減り、最近の出来事やニュースについてはSNSだったり周りから聞いた事だったりで得ることが多くなりました。今ではSNSから多くの情報をネット上で得ることが出来ます。私の友人も同様の意見でした。私は普段ニュース番組を見ていませんが、その分youtubeやTikTok、Xから最近の出来事を情報として入手しています。若者が普段から身近にあるSNSで選挙に興味を持てるようなきっかけ作りがあると、選挙について興味を持ってもらうことができるのではないかと思います。

選挙で投票をする若者を増やすためには？まずは選挙自体に興味を持つ必要があります。では選挙に興味を持つ若者を増やすためにはどうすれば良いのでしょうか？

私の考えとして、1つ目は、周りの雰囲気が大事ではないかと思います。私自身も選挙に行こうと思えたのは周りの友人・クラスメイトが選挙について興味を持っていたからだと思います。1人でも多く選挙について興味を持つことで周りを少しでも巻き込むことが出来るのではないのでしょうか？そのために、学校の授業でも選挙について考える時間も必要だと思います。授業を通して選挙について学び、投票に行くことで私たちでも政治に参加できるのを実感するのが大切だと思います。

選挙に行っておらず私には関係ない、どうせ私が1票入れただけでは何も変わらないという考えを持っている人は1度でも選挙に参加をしてみてください。考えが変わるかもしれません。

そして2つ目です。若者が普段から使用するSNSで政治の状況について発信していくことです。私自身も興味を持ったものに対しては、自ら調べてみるがあります。いざ調べてみると意外と興味深いものがありますが、誤った情報もあります。そのため現在のSNSの状態では正しい情報を見極める必要があります。日本の政治の現状について、正しい情報を発信するサイトやアカウントが整備されれば幅広い年代でも正しい情報を得ることが出来るのではないかと思います。

最後に私は、学生時代に生徒会選挙の選挙管理委員会を務めたことがありました。実際に選挙に携わってみて、いろんな人の手によって選挙がなりたっているのだと改めて感じ取

れました。特に高校の時には、実際の選挙に寄せるため市役所より投票箱をお借りし、学生証で本人確認して投票するという流れをとっていました。投票所では、声を出すことが禁止されており、緊迫した空気の中で投票したのを今でも覚えています。その経験があったからこそ18歳になってから、初めて実際の選挙で自分の意思を持ち、投票することができたと思います。

選挙に行かないことは、自分の未来を捨てていると言っても過言ではないと思います。なぜなら、選挙によってこれからの日本の未来に繋がるとも言えるからです。みなさんも、自分の未来を捨てるのではなく良い未来をあなたの投票によって拾ってみてはどうでしょうか？

ご静聴ありがとうございました。